

第68回はたらく女性の中央集会 in 長野  
第4分科会 (社会保障)

ケアが大事にされる社会へ

「医療・介護・福祉・くらしの現場から見えるもの」

2023年10月8日 (日) 10:00~12:30

JA長野県ビル12階会議室



「公的医療はどこへ行く」予告編

NPO法人医療制度研究会理事長 本田 宏



遠因を探る

日本医学会/日本医学会連合会長 門田守人

炉辺閑話 2023 日本医事新報 No.5150 2023.1.7



昨年は、21世紀とも思えない事象が国内外で次々と発生した年だった。国内に限っても、3年近いCOVID-19パンデミックから、政界、経済界、宗教界、教育界、オリンピック開催等に関わる諸問題、さらにははじめにセクハラ・パワハラ等、挙げれば枚挙に遑がない。起きていた事象は違った領域で、質も異なり、内容も関係者も多様である。それぞれ原因の究明と対策が進められているが、残念ながら、納得のいく成果が得られているとは言い難い。果たしてその理由はどうか考えるべきであろうか。

わが国では起きた問題を独立した個別のものと思われ、ともすると表面的な現象としての犯人捜しのような原因追及をする傾向がある。確かに、一つひとつに特有の原因も存在するであろう。しかし、それだけで終われば、問題の本質を矮小化し、社会の深層に横たわっている真の原因を見逃す危険性があるのではない。注意しなければならないのは、このようなことが日常化すると、国民が安直な問題の解決法に慣れてしまい、問題の真の原因を追及する観点が社会全体から失われることである。

福澤諭吉は『文明論之概略』において、このような状況を「感潮」と称しており、その習慣からの解放が必要と述べている。また、福澤は同じ「概論」の中で、物事の原因について「そもそも事物の働きには、必ずその原因なくばならず。而してこの原因を、近因と遠因との二様に区別し、近因は見易くして遠因は非難し、近因の数は多くして遠因の数は少なし。近因はやもすれば遅延して人の耳目を惑わすこと有れども、遠因は一度これを獲れば確実にして動かし難し。ゆえに原因を探るの要は、近因より次第に遡って遠因に及ぼすにあり」と遠因の追及を強調している。

日本の近代化が始まって間もない明治8年の段階で、福澤はこのような物事の本質の重要性を指摘している。それからおよそ150年間の近代化を果して来たはずの現在の日本で多種多様な事象を経験している我々は、今一度、福澤の教えを思い起こす必要があるのではないだろうか。

2022. 9. 8

NPO法人医療制度研究会

本田 宏

2022年3月25日

都議会「都立病院廃止条例」可決！！

人権としての  
医療へのアクセス

第65回日本弁護士連合会

人権擁護大会

2023年10月5日 長野



2022. 3. 25

本田 宏

NPO法人医療制度研究会

第1部 12:35 病院の入り口に立てない人々  
特別報告 本田 宏(前)のコロナ医療実態報告  
特別報告 広津和久(元)の母子生活の困難  
特別報告 高橋 隆(元)の医療現場の苦闘と展望  
日本赤十字社学芸部元主任(元)の医療現場の苦闘と展望

第2部 13:25 医療現場の苦闘と展望  
特別報告 本田 宏(前)のコロナ医療実態報告  
特別報告 広津和久(元)の母子生活の困難  
特別報告 高橋 隆(元)の医療現場の苦闘と展望  
日本赤十字社学芸部元主任(元)の医療現場の苦闘と展望

第3部 14:30 医療現場の苦闘と展望  
特別報告 本田 宏(前)のコロナ医療実態報告  
特別報告 広津和久(元)の母子生活の困難  
特別報告 高橋 隆(元)の医療現場の苦闘と展望  
日本赤十字社学芸部元主任(元)の医療現場の苦闘と展望

第4部 15:40 コロナ禍の地域医療のありか  
特別報告 本田 宏(前)のコロナ医療実態報告  
特別報告 広津和久(元)の母子生活の困難  
特別報告 高橋 隆(元)の医療現場の苦闘と展望  
日本赤十字社学芸部元主任(元)の医療現場の苦闘と展望

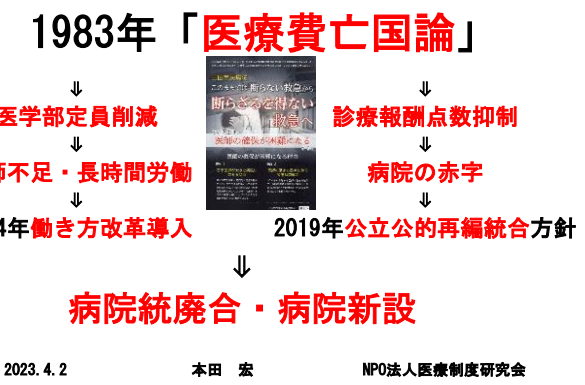
2023年 10/5 (日) 12:30~18:00  
赤十字文化ホール  
長野県民文化会館  
※手話通訳あり



## 医療費抑制の実態



## 医師不足→病院統廃合はなぜ？



「人口10万対150人」の医師の目標は達成した  
**昭和58年（1983年）**  
 医療費抑制を目指す当時の厚生省は医療費亡国論を発表、医師過剰時代の到来を喧伝し始めた。

### “医療費亡国論”

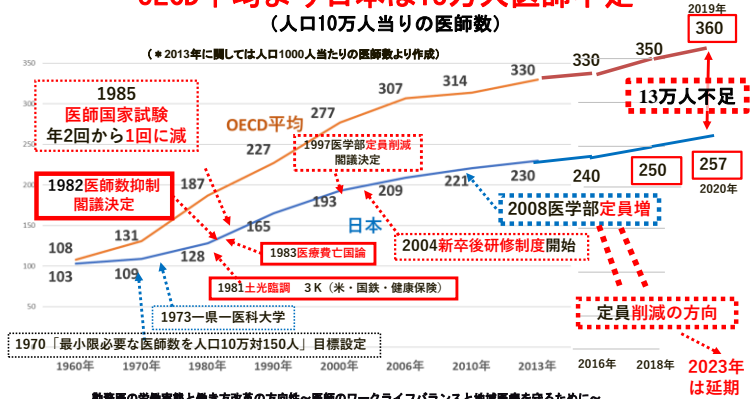
- 社会旬報（1983、昭和58年） 厚生省の吉村 仁保険局長
- 1、「医療費亡国論」このまま租税・社会保障負担が増大すれば日本社会の活力が失われる
  - 2、「医療費効率減論」治療中心の医療より予防・健康管理・生活指導などの重点をおいたほうが効率的
  - 3、「医療費需給過剰論」供給は一県一大学政策もあって近い将来医師過剰が憂えられ、病床数も世界一、高額医療機器導入数も世界的に高い
- ※以上以外に不正請求と不当請求の違いに言及  
 これに当時医療界は誰一人反対した形跡がない。

2023. 4. 2 本田 宏 NPO法人医療制度研究会  
 2014. 5. 7 済生会栗橋病院 本田 宏 医療制度研究会





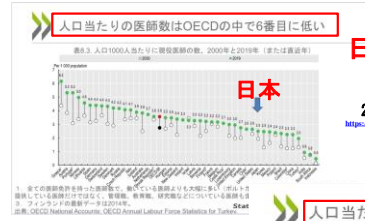
## OECD平均より日本は13万人医師不足 (人口10万人当りの医師数)



勤務医の労働実態と働き方改革の方向性～医師のワークライフバランスと地域医療を守るために～  
医療制度研究会 2018.9.15 全国医師ユニオン代表 横山直人氏を改稿・追加

2023年9月5日 NPO法人医療制度研究会 本田 宏

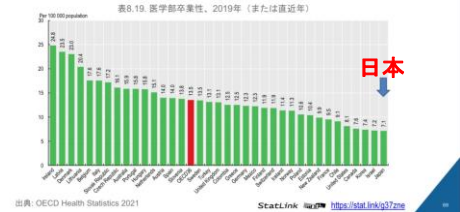
定員削減の方向  
2023年は延期



## 日本は医学部卒業生数も最低

図表でみる医療2021：日本  
2021年11月9日 OECD雇用局医療課 藤澤理恵  
<https://www.oecd.org/health/health-systems/Health-at-a-Glance-2021-How-does-Japan-compare.pdf>

## 人口当たりの医学部卒業生数はOECDで最も少ない

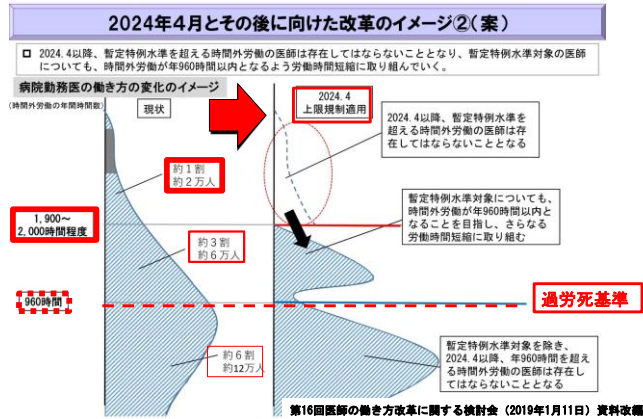


2022. 11. 1

本田 宏

NPO法人医療制度研究会

## 勤務医4割8万人が過労死ライン越え、1割2万人過労死ラインの倍！



2019. 1. 12

本田 宏

NPO法人医療制度研究会

## 「不正入試」「医学部地域枠」 問題の真因は？

### 女性差別は「必要悪」なのか

現役医師らが不正入試裁判に込めた思い  
朝日新聞 2022年9月17日  
<https://www.asahi.com/articles/ASQ897K96080UTL03K.html>



2022.9.12

NPO法人医療制度研究会

本田 宏



## 名ばかり宿日直？

23.2.9 全国医師ユニオン厚労省記者会見



2023.5.8 本田 宏 NPO法人医療制度研究会

## 医師不足を放置すると？

- ①感染症や大災害時の医療崩壊・経済停滞
- ②医療機関閉鎖縮小→医療空白地帯増大
- ③患者安全・医療の質低下
- ④診療科・地域偏在悪化
- ⑤医学研究停滞
- ⑥医師の過労死・過労自死
- ⑦医学部女性受験者差別、地域枠問題・

2021.12.21 NPO法人医療制度研究会 本田 宏



医師の働き方改革が勤務医を追い詰める！  
過労自殺した若手医師「限界です」両親へ遺書  
病院側は長時間労働の指示否定

8/17(木) 5:00配信 読売新聞オンライン

神戸市東灘区の「甲南医療センター」の専攻医だった高島農伍(しんご)さん(当時26歳)が過労自殺した問題で、高島さんは生前、仕事で追い込まれていく心情を母親に吐露していた。センターは長時間労働を指示したことを否定しており、遺族は不信感を募らせている…

センターは、院内にいる時間には、知識や技能を習得するための「自己研さん」の時間が含まれ、全てが労働時間ではないと主張。勤務医らには、センターにいる時間のうち「業務時間」と「自己研さんの時間」を分けて申告するよう指示していたという。高島さんが、自己申告していた残業時間はほとんどなかった。

2023年8月18日 NPO法人医療制度研究会 本田 宏



## 「思いやり」と「人権」は別物

日本で誤解されている人権のイメージ

武器としての国際人権 日本への脅威・報道・差別 藤田早苗 集英社新書



人権とは？ 人間らしく生きるために不可欠なものは？

- 教育を受けること
- 医療
- 安全な住居
- 安全な食糧
- 自由に移動すること
- 情報を得ること
- 収入
- 差別されないこと
- 意見を表明する自由
- 人として大切に扱われること
- 尊厳が守られること

すべてが人権と直結している。人権はすべての人が持っている。16P

2023. 6. 24 本田 宏 NPO法人医療制度研究会



## 患者の権利宣言25周年記念集会

2009年10月31日

<http://sites.google.com/site/kenri25/shinpo-tesu-okoshi-2>

九州大学大学院法学研究院教授内田博文氏より改編

◎国策に奉仕する医療は、科学の名に値しない。  
統治のための技術でしかない

◎国家からの独立性の保証なくして、  
科学も専門家も存在し得ない

◎医療・医療提供者が国策に奉仕させられることは、  
国民の命が国策に奉仕させられるということ  
過労死ラインを超えて、医療安全は守れない！

2018. 10. 18 本田 宏 NPO法人医療制度研究会

## 日本の医療制度を検証する ここを変えれば良くなる

- 1、**「公的」医療・保健・福祉充実**  
→ 都立病院独法化、公立公的病院再編統合凍結機能充実
- 2、**医師絶対数不足解決**（感染症・集中治療専門医不足）  
→ 23年度医学部定員削減中止、専門医制度の在り方熟慮必要
- 3、**医師の働き方実現のために**  
→ 実効性あるタスクシフト Physician Assistant導入
- 4、**かかりつけ医制度徹底**  
→ 自宅待機・療養者ケア充実
- 5、**医療機関経営安定化**  
→ 診療報酬点数増、高い薬価見直し
- 6、**医学教育見直し**  
→ 臨床教育充実、国試複数回&簡素
- 7、**医療基本法 患者の権利法制定**  
→ **一番大きな壁は、財政規律優先の国**



2021. 2. 20 本田 宏 NPO法人医療制度研究会



## 医療基本法制定 最大の壁は財務省

日本の医療を切りひらく 医事法 現代人分社

### ① 国の壁（最大の壁）：財政

患者の権利を医療基本法で明確に定めた場合、国にとって、患者の権利を保障する医療を提供するための予算措置などが義務付けられる。しかし昨今の「ひっ迫した財政事情」では予算措置の義務付けは何としても避けたいというのが国の本音であろう。さらに患者の権利保障が国を義務付けることは、国の裁量ないし権限が縮小することも意味する。これも国がなんとしても避けたいものの一つと言えよう。

### ② 医師の壁

医療従事者の中でも頂点として長年君臨してきた医師の中には、患者は医師の治療や指示に従う義務があるという感覚が温存されている。

### ③ 「市民」の壁

医師を始めとする医療従事者の指示に従うことに満足や覚えさせられてきた多数の「市民」の中には、患者が自ら考えて、場合によっては医師など対峙することへの嫌悪感を持つ者がむしろ多数を占めるように思われる。299 P

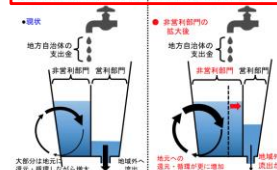


## 99%の人々の生活を豊かに

日本再生のための「プランB」医療経済学による所得倍増計画

齋炳匡 集英社新書

図表4-10 非営利部門拡大が、バケツの水位（資金と地元の実績）経済での循環を高め、地元からの資金流出を減らす理由



どん底ニッポンを立て直す！ 第4回  
『働<99%』のための成長戦略  
「働き方改革」へのマダカ  
著 齋炳匡 > 山崎幸一  
発行所 集英社



日本再生のための「プランB」  
医療経済学による所得倍増計画  
12月20日医療制度研究会第113回講演会



「日本の官僚や政治家には、そもそも政策が失敗するという前提がないから『プランB』がないのです。法案を作る、法律を実施する、事後評価するという三つの段階は、民主国家ではそれぞれ別の組織が行います。しかし、官僚は単独でこの「3役」を事実上、担っています。このシステムでは、失敗が存在しえないのです」  
2021年7月13日 朝日新聞「(辯論)プランBが見えない」

2023. 1. 14 NPO法人医療制度研究会 本田 宏

## まとめ

### 日本の教育とメディア

## 偉い人は平気で嘘をつく？！

本庄 祐 京都大学特別教授 (2018年ノーベル賞受賞)  
免疫チェックポイント阻害因子発見とがん治療へ応用でジェームズ・P・アリソン氏と生理学・医学賞共同受賞



2019. 10. 12 本田 宏 NPO法人医療制度研究会

## 私たちはどうして時の政権にやすやすと騙されるのか

「戦争責任者の問題」伊丹万作 1946年

多くの人が、今度の戦争でだまされていたという。おれがだまされたのだといった人間はまだ一人もない。日本人全体が互いにだましたりだまされたりしていた。

新聞報道の愚劣さや、町会、隣組、警防団、婦人会といったような民間の組織がいかに熱心にかつ自発的に騙す側に協力していたか。

専横と圧制を支配者に許した国民の奴隷根性とも密接に繋がる。

我々は、いま政治的には一応解放された。しかしいままでも、奴隷状態を存続せしめた責任を軍や警察や官僚にのみ負担させて、彼らの跳梁を許した自分たちの罪を真剣に反省しなかったならば、日本の国民というものも永久に救われるときはないであろう。

「だまされていた」といって平気でいられる国民なら、おそらく今後も何度でもだまされるだろう。

2017. 9. 26 本田 宏 NPO法人医療制度研究会



伊丹 万作 (1900年1月2日 - 1946年9月21日)、映画監督、脚本家、俳優、エッセイスト、挿絵画家

## 原発・放射能 【あの時のこと、あなたは忘れ了吗?】 判断できない、70%が誘導される



中学生91%が『受け入れる』  
2012年5月10日NHK「ニュースウォッチ9」  
子どもたちは、私たち大人以上に真剣に、深く考えているように見えました。私たち大人もお手前にした方がいいです (大越キヤスター)





**ザイム真理教サポーター大手メディア  
大手新聞社本社すべて国有地払い下げ  
時価数分の一で取得?**

ザイム真理教、それは信者8000万人の巨大カルト  
齋永卓郎 三五館シンシャ

毎日新聞 2931㎡、1966年  
産経新聞 4786㎡、1954年  
読売新聞 6196㎡、1971年  
朝日新聞 14680㎡、1980年

2023年5月30日 本田 宏 NPO法人医療制度研究会

**報道の自由度は投票行動に直結??**

日本の「報道の自由度」ランキング  
2021.11.3 本田 宏 NPO法人医療制度研究会

**報道の自由度低下** → **投票率低下??**

2021年10月31日総選挙  
戦後3番目の低投票率55.9%

衆院選の投票率  
1990 93 96 2000 03 05 09 12 14 17 21年  
(総務省発表、1996年以降は小選挙区)  
52.66% → 55.93%

時事ドットコムニュース  
<https://www.jiji.com/ja/article?k=20211030190190&g=pol&g=2021101101&v=208&v=1>

**2021年10月31日総選挙 戦後3番目の低投票率55.9%**  
ネットワーク「地球村」(2014年11月数字確認変更)より引用改編 <http://www.chikyumura.org/bureau/2013/04/19210643.html>

埼玉県知事選2015	26.6%	埼玉県知事選
アメリカ参院選2019	42%	
総選挙2014	52.7%	
総選挙2017	53.7%	
参院選2016	54.7%	
総選挙2021	55.9%	戦後3番目低投票率
都知事選2016	59.7%	
沖縄県知事選2014	64%	
イギリス参院選2019	66%	
フィンランド参院選2019	67%	
総選挙2009	69.3%	民主党政権交代
ドイツ参院選2017	71%	
ノルウェー参院選2017	76%	福祉国家80%超
アイスランド参院選2017	85%	
スウェーデン参院選2018	85%	
デンマーク参院選2015	88%	
キューバ参院選2018	95%	

2021.11.3 本田 宏 NPO法人医療制度研究会

**日本の教育**  
日本の学校は、考えない人間を5つの方法で生み出している

鈴木横城氏ブログより引用改編  
<http://www.b1lackz.com/?m=0&c=20140116T155400900>

- 1 暗記を押し付けて「考えさせない」
- 2 苦手を押し付けて「考えさせない」
- 3 制服を押し付けて「考えさせない」
- 4 規則を押し付けて「考えさせない」
- 5 団体行動を押し付けて「考えさせない」

多くの日本人は勘違いしているが、覚えると考えるは別

日本では国民の8割がサラリーマンのため学校の重要な使命は上司の言うことをよく聞いて、口答えせず、言われたことを忠実に、不満があっても黙々と働き、集団生活を優先するように「規格化」すること

2016.4.29 本田 宏 NPO法人医療制度研究会





**BOTTOM UP! REPORT** 短編映画 **公的医療はどこへ行く** —協賛のお願い—



共同製作 本田宏（外科医）× 遠藤大輔（ビデオジャーナリスト）

2022年、都立病院が独立法人化！全国で進む公的医療の民営化と統合。今、日本の医療はどこへ向おうとしているのか。各地で起きているその弊害を、さまざまな事例から考察し、問題解決の糸口を探る！「闘う勤務医」こと本田宏医師と、ビデオジャーナリズムの第一人者・遠藤大輔がタッグを組んで挑む、日本の医療への「処方箋」。観念製作中！

振込口座：PayPay銀行ビジネス営業部(普)4482671 口座名義：ドメディアカドゥンエンキョウ

★郵便局をご利用の方は、「払込取扱票」を使用しその通信欄に、「氏名・メールアドレス」を必ずご記入の上、お振込みください。

★銀行お振込みの場合は、お手数ですが、事務局まで、ご氏名および金額、「公的医療カンパ」と記載しメールにてご一報ください。

協賛いただいた方の氏名は作品のエンドロールに記載させていただきます。匿名もしくはニックネームをご希望の方は、その旨お知らせください。

企画製作／メディア活動支援機構（MSO）  
〒104-0061 東京都中央区銀座1-22-11 銀座次竹ビジネス2F  
事務局 E-mail：bottomup.ch@gmail.com  
公式サイト https://www.bottom-up.ch

予告編 [はこちら→](#)



## 樹液を吸い取る政治

医療・社会保障充実を阻むものとの訣別へ

本田 宏 あけび書房 1800円＋税

第1章：「樹液を吸い取る政治」に  
メスを入れる

第2章：日本の低投票率を診断する

第3章：増悪する軍拡と医療崩壊の合併症

第4章：医療再生の処方せん



2023. 10. 22

NPO法人医療制度研究会

本田 宏